

8-4-43 照査特別WG

1. 主な活動の記録

本WGの主たる活動である「品質委員会/品質セミナー」は平成12年度から継続的に開催している重要な協会活動であり、今年度で26年目となる。

品質セミナーは「エラー事例を把握することで同様・類似のエラー発生を防ぐ」、及び「エラーに対する分析や改善策を把握することで、品質の維持・向上への具体策やヒントを知る」ことを目的に、管理・照査技術者、若手技術者などの実務者層や各社の品質管理担当者を対象に実施した。

令和7年度のセミナープログラムは、品質委員会による活動・契約不適合の発生状況等の説明、品質向上専門委員会による国土交通省品質確保策への対応、品質管理におけるICT活用の現状の説明、照査特別WGからはエラー事例の技術的分析と改善策として道路/トンネル、橋梁、鉄道、土質・地質、港湾、河川構造物、砂防・急傾斜の7分野での事例紹介とその解説を実施した。

(1) 照査特別WGの構成

令和7年度は技術部会の道路、道路構造物、河川構造物、土質・地質、ダム・発電、砂防・急傾斜、鉄道、港湾の8つの専門委員会委員によりWGを組織し、10月のセミナー開催に向けてWG活動を推進した。

(2) 照査特別WGの開催

WG開催：6回（4～9月）

セミナー講師全体リハーサル：1回（9月）

(3) 品質セミナー資料の作成と更新

エラー事例は各支部での収集活動を継続するとともに、本部専門委員会でも収集し、新規に193事例を追加した。新規事例も含め、エラーの技術的分析と対応策を盛り込んだ令和7年度版のセミナーテキスト『エラー防止のために参考資料』（2,853事例、全1,746ページ、ダウンロード配布）ならびにこれに基づくプレゼンテーション資料を作成した。前者は、品質委員会にて利活用を試行し、品質向上推進ガイドライン活用ツールへも反映した。後者は、実施

報告書とともに協会HPへの掲載を行っている。

また、各専門委員会が作成した詳細設計照査要領(案)、チェックシートを更新、配布した。

表. 令和7年度 品質セミナープログラム

① 品質委員会の活動と契約不適合の発生状況	
② 国土交通省品質確保策への対応 (国交省及び都道府県発注業務)	
③ 品質管理におけるICT活用の現状 前編：調査の概要とアンケート結果 後編：ヒアリング結果	
④ エラー防止のために	(1) 道路/トンネル
	(2) 橋梁
	(3) 鉄道
	(4) 土質・地質
	(5) 港湾
	(6) 河川構造物
	(7) 砂防・急傾斜

(4) 品質セミナーの開催

これら準備のもと、全国9支部の協力を得て、「品質委員会/品質セミナー～品質の確保・向上に向けて～」を10月～11月にオンラインセミナーにて開催した。開催期間は昨年度と同じ19日間とし、平日中心の開催とした。

参加者数（全体）は、2,439名となり、ビデオ配信を開始した令和2年度以降では、過去最大の人数となった。アンケート結果からセミナー内容、資料、時間いずれも評価が高く、オンラインでの継続を望む声も多かった。

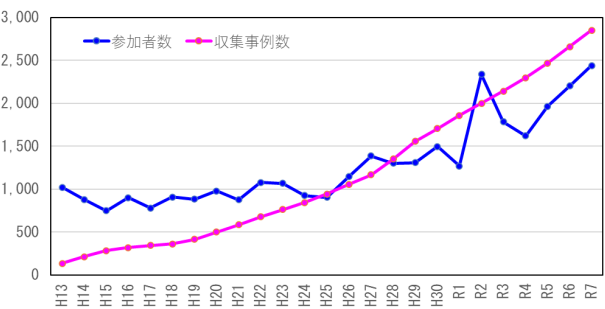


図. 参加者数及び事例収集状況の経年変化

2. 次年度の活動について

令和8年度も引き続き品質セミナーを開催する予定である。なお、エラー事例は新たに都市計画・環境分野を加えて収集し、令和7年度のアンケート等を踏まえ、更に満足度が向上するよう全国各支部や本部専門委員会の協力を得ながら、品質委員会、照査特別WG等で検討する。

（照査特別WG WG長 中瀬 有祐）